



入院雑感

長 浜 克 重

どういう訳か知らないが、私はこれまでにガンの手術を二度も受ける破目におかれた。体質的にガンに罹りやすいのかも知れない。実験動物としてのねずみの仲間にも、ガンに罹病しやすいのと、しにくいのあるという。国立ガンセンターの佐藤隆一博士の見つけだした「どんりゅう」というラツテは、一万匹のうち9,999匹までが確実に吉田肉腫に罹病するのだそうだ。(豊島滋：ガンの再発と転移)

そんなわけで、私も多分に「どんりゅう」的体質をもっているのだろうかと思測を逞くする。医者は勿論、私にそのものずばりと「あなたはガンだ」とは言わなかった。12年前にS状結腸を患った時には、ポリプが出来ていて、異型細胞が多少みられると説明していた。昨年11月に手術をうけた前立腺の場合には、前ガン症状だと医者は私に話していた。どちらも患者の私にショックを与えないようにという配慮があったのだろう。

ガンだとわかったのは、前者の場合は手術後に、医者が切除した肉塊を家内に見せながら、「ガンらしい感じがするが、粘膜上皮層の一部に見られるだけで、まだ筋肉層には侵入していない。早期発見だから絶対大丈夫だ」と言ったという。絶対に大丈夫だといわれて、家内も私に隠すことはしなかった。後者の場合は、何かのはずみにカルテを覗き見したら、Prostatic cancer (前立腺ガン)と書かれてあった。その時、突差に私の頭に浮んだのは、転移ということだったが、医者は転移ではなくて全く別ものだと説明してくれた。しかし、ガン患者は医者の言葉をそのまま信用しようとはしない。いつもその言葉の裏を考えたり、表情や目の一寸した動きにも何かを探ろうとする。私も医者の説明は他所において、来るべきものが遂にきてしまったという気持がつきまとうて仕方がなかった。むら雲のように巻き上がってくる不安や妄念を、頭を振って払いのけながら入院許可の知らせを待った。診断から入院までには約40日の期間があったが、その間を矢鱈に仕事を忙しくしたり、古典音楽の研究所に通ったりして、考えこむことを意識的に避けて過した。

手術は、12年前の結腸の場合には開腹して腸を12cmほど切りとって繋ぎ合わせるという頗る機械的な感じのするものだったが、昨年11月の前立腺の場合には背中から尾底骨とせん骨を切断し、腫瘍を切除したあと、機械を挿入して一挙に3,000ラドという強烈な放射線を照射して焼いたという。除去した腫瘍は大豆

ほどの大きさのものに過ぎなかった。

医者は「動物のしっぽの痕跡として残されている尾底骨もなくなったのだから、あなたは超進化人間になったわけですね」と笑いながら話していた。私は温厚な医者顔を眺めながら、彼が血に染って肉を切ったり、鋸で骨を切断したりしている姿を想像して、ちぐはぐな気持ちになった。46才というこの医者は、患者から神様といわれる程に絶対的な信頼があった。医者の中には血便をトマトを喰べたんだらうと奇妙な診断をしたり、傲慢、威圧の態度の医者もいるが、この主待医を見て、医者になるならこんな医者にと私も思った。

私の受けた手術はこの医者によって新しく開発されたものだそうで、私は9人目の患者ということだった。これまでの8人は100%、成功しているということだったが、この話は、私に希望と自信を与えてくれた。

私のベットは窓際であって、プラタナスの街路樹や車の行き来が眼下に見られ、別棟には過日、亡くなられた理論物理学者の朝永振一郎博士が入院しておられた。

6人部屋の私の病室には、今日、明日という重患がいなかったせいか、ガンの病室としては、笑い声が多くて明るかった。

大学の先生2、牧師1、会社の社長2、それに日大理工学部の学生1という組合せであった。病室が明るい雰囲気包まれていたのは、多分みんなの知恵と努力のせいだったのかも知れない。

「顔で笑って心で泣いて」という言葉があるが、それは、ガン患者の振舞にぴったりの表現である。「昼の顔、夜の顔」という言葉もそうである。昼間は他愛もないことを喋り合って笑顔を絶やさない人でも、夜は確かに別人になる。消燈9時あと、否応なくベットの囲りに張り巡らされたカーテンの中で、患者は完全に孤独に投げこまれる。そして暗黒の中で自分との闘いが始まる。不眠症になっても睡眠剤は連日はもらえない。考え込むことが一番こわかった。私はイヤホーンでラジオの深夜放送の無駄なおしゃべりを聞いたり、カセットにとった琉球古典音楽をきいたりした。時にはカチャーシーの曲に併せて、暗がりの中で手だけで無茶苦茶踊りをするこもあつたし、涙もなくて涙が出たりした。

死と対決するという経験は、戦争中ニューギニア戦線でも度々あつたが、それは、ガンという病気ほどには余韻をあとに残さなかつた。入院患者の中には八年前に手術をした直腸ガンが大腿骨に転移したというのもいた。執念深い病気である。

前立腺の手術のあと、三ヶ月後に退院することになったが、退院の前日医者は99%は大丈夫だと話してくれた。前の医者のように「絶対」大丈夫とは言わなかつた。太鼓ぼんは何年かあとまで持ち越される訳だが、私はこの医者の正確な表現が気に入っている。

目下、私は転移防止を考えて、三ヶ月毎に診察を受けるために上京しているが、結果は良好ということなので、クヨクヨすることもなく、従前通りの生活を楽しんでいる。ガンは早期発見ならば、そして経験豊かな医者に出会えば、絶対に完治しようということには決して疑いをもっていない。

(教育学部教授 元附属図書館長)

昭和54年度大学図書館職員講習会（東京会場）に参加して

10月30日から11月2日の4日間にわたり、東京大学の総合図書館において、大学図書館職員講習会が行なわれた。

晴れた秋の日の富士山を見ながらの久し振りの上京に、胸が高鳴っていた。

取りあえず講義題目を記し、内容に触れてみたい。

記

10月30日 大学図書館の使命
大学図書館行政
研究者の図書館への期待（人文・社
会科学系）

” （自然科学系）

10月31日 大学図書館における参考調査活動の
将来の発展
専門職能としての大学図書館員
外国における情報システムと大学図
書館の現状

11月1日 図書館業務機械化の新しい方向(1)
—トータルシステム研究の概要—
図書館業務機械化の新しい方向(2)
—MARCデータベースのオンラ
イン利用実験—

書誌調整標準化の国際的動向と日本
の図書館

11月2日 我が国の今後の学術情報システムと
大学図書館
相互協力活動の今後の課題

大学図書館は、大学の象徴とも心臓ともいわれ、大学における教育・研究の活動に知的な基盤を与え得る施設として重要な役割をもっている。従来は、主として学生用の図書館としての役割に主眼を置いて発展してきた観があるが、近時は学術研究の基盤たる学術情報の拠点としての役割が増大し、ここに図書館資料購入費の充実、図書館職員の増員、図書館業務の合理化（コンピュータの導入・その他近代設備費の計上）等が推進されてきたが、学術情報の収集提供システムにおいて、基幹的な機能を有する大学図書館については、なお一層の整備を図らなければならないとされている。

この時点で、それらを踏まえた上「図書館はどうあるべきか」という、それを指向することから「どうすべきか」という意欲的な取り取りみが肝要ではないだろうか。

まず大学図書館の将来を考えるにあたって、参考機能の向上充実が第1とされ、参考資料室の充実（二次・三次資料の整備、参考系の向上）や開架閲覧室の整備を図り、また自館所蔵図書 of 機械可読目録の作成などが挙げられ、

それに加えて第2には、図書館界全体としてLC-MARC, UK-MARC, JAPAN-MARCなどの活用をはかりつつ、学術資料全般の分担収集を図り、個々の図書館が作った機械可読目録を統合し、大学界の所在目録を作るか。一元的な総合目録を持ち、相互利用などによって、利用者の情報要求を満足させるように努力する必要があるとされ、我が国の図書館もオンラインによる、図書館ネットワークの形成に向わざるを得ないと言われている。この為に、現在の業務の組織、業務の流れ、業務の標準化に目を向け、内部の体制を整備することが重要であると思われる。

さらに加えて図書館は資料を整理しておいて、利用者を待つという情報蓄積の機能にとどまらず、積極的に情報を流すことをも含む情報のフローにかかわる機能に十分配慮すべきであるとし、自己完結的な蔵書の構築から情報のフローへと発展させ、その成果の積み重ねが図書館へのフィードバックとなるものとし、今後このように志向されていくのかもしれない。

以上のように4日間の集中した講義の幾つかは、現在の私の業務とは少々、かけ離れた内容のような気もしたが、これからの大学図書館の動向を把握するのに意義深い研修であった。

研修会場の東京大学は最高学府として、多くの人材を世に送り出しただけに、建築物の一つ一つにも学問の歴史が刻まれているように思われた。

三四郎池をぐるっと回って、赤門を出た。羽田に着いた時は日もすっかり暮れ、タラップに上って振り向くと、誘導燈の光が青く静かだった。

参考文献：大学図書館職員講習会テキスト

（整理係 山里道子）

JOIS公衆回線サービスについて

日本科学技術情報センター（JICST=The Japan Information Center of Science and Technology）では昭和51年7月より、オンライン情報サービスを各地域で行っていましたが、昭和54年11月より九州支所でもサービスを開始することになり、本附属図書館でもこれに加入して、教官各位の研究に資することになりました。本館でのサービス開始時期は未定ですが、来年の早い時期になる見込みです。

このシステムは、JICSTオンライン情報システム（JICST On-line Information System）と呼ばれ、JOIS（ジョイス）と略称されています。

これは情報を欲しいと思う人が直接最新の電子計算機システムに電話回線によって結ばれている端末機にタイプライターを打つ要領で、キーワード（Keyword, Subject, Terminology）を打ち込むと580万件を越す情報ファイルの中から、直ちに、必要な情報を打ち出してくれるサービスです。

詳細は図書館参考調査係（5階、内線338）に案内書を備えてありますのでご覧ください。できるだけ多くの先生方がご利用くださるようお願いいたします。

提供ファイルの概要

（昭和54年8月末現在）

ファイル名	蓄積期間	蓄積量	分野	情報源	備考
JICST理工学 文献ファイル	1975年4月 ～現在	約157万件	理工学 全般	雑誌(8,500種) レポート 会議資料	JICST発行の「科学技 術文献速報」に対応
CAS化学 文献ファイル	1974年1月 ～現在	約216万件	化 学 化学工業	雑誌(14,000種) レポート 図書、学位論文 特許(27カ国)	米国ケミカル・アブスト ラクト・サービス発行の 「Chem.Abst.」に対応
MEDLARS 医学文献ファイル	1974年1月 ～現在	約140万件	医 学 薬 学	雑誌(2,300種) モノグラフ	米国国立医学図書館発行 の「Index Medicus」に 対応
TOXLINE 毒性文献ファイル	1974年～現在	約58万件	毒物学	CBAC、TOXBIB など7種のデー タベースからなる。	米国国立医学図書館編集 のデータベース「TOX- LINE」に対応
CLEARING国内 研究案内ファイル	1976年 ～現在	約2万件	理工学 全般	国内の公共試験 研究機関の研究 プロジェクトに 関する情報	JICST発行の「公共試験 研究機関案内」に対応
SSIE米国 研究案内ファイル	1977年～現在	約10万件	理工学 全般	米国内の研究プ ロジェクトに関 する情報	スミソニアン・サイエン ス・インフォメーション ・エクスチェンジ発行の 「SSIE」に対応

（注1）各ファイルとも書誌の事項、キーワード、分類などを含みますが、抄録は含まれません。
また、すべて英文字・カナ文字で出力されます。

JOISのサービス時間

毎週月曜日から金曜日まで、4-6種類のファイルを同時にサービスしています。

(祝祭日をのぞく)

サービス時間	月	火	水	木	金
9:45~12:00	JICST	JICST CAS	JICST CAS MED	JICST	JICST CAS
13:00~17:00	MED TOX CLEAR	CLEAR SSIE	CLEAR	MED TOX CLEAR	CLEAR SSIE
	JICST-K CLEAR-K	JICST-K CLEAR-K		JICST-K CLEAR-K	JICST-K CLEAR-K

JOISの利用料金

	ファイル	使用料	オフライン回答料
公衆 端末	JICST, MED SSIE, CLEAR	180円/分	500円/回+15円/件
	CAS	207円/分	500円/回+23円/件
	TOX	205円/分	500円/回+22円/件

(注) * JICST-K, CLEAR-Kは、オフライン出力はできません。

アメリカ研究図書について

アメリカ研究図書については、“びぶりお” Vol. 11 No.3でその目的、コーナーの設置や利用方法等についてお知らせ致しました。その後、日米友好基金5千弗の援助金によるアメリカ研究図書の選択については、組織的により綿密に図書の選択を行い、より効果的に日米友好基金を活かし、アメリカ研究に資したいとの目的から第118回図書館運営委員会において、下記の通り「琉球大学附属図書館アメリカ研究図書選択委員会設置要項」が今年の1月22日に制定され、委員10名が2月20日に委嘱され、委員長には法文学部宮里政玄教授が選ばれました。

現在、資料はアジア財団と日米友好委員会からの寄贈図書1,546冊と第1年目の日米友好委員会からの5千弗の援助金によるアメリカ研究の購入図書393冊であり、既に附属図書館5階のアメリカ研究図書コーナーに配架されておりますので、ご自由にご利用下さい。貸出は一般図書の貸出規定に準じて取り扱われております。

琉球大学附属図書館アメリカ研究図書選択委員会設置要項

(昭和54年1月22日
制 定)

第1条 本学附属図書館運営委員会（以下「運営委員会」という。）に、アメリカ研究図書選択委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 法文学部、教育学部及び教養部並びに短期大学の教官の中から推薦された者各1名
- (2) 附属図書館長が必要と認めた教官若干名

第3条 委員会は、日米友好基金に基づくアメリカ研究図書に関し、選択することを目的とする。

2 委員会は、アメリカ研究図書を選択した結果を運営委員会に報告するものとする。

第4条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、委員の中から互選する。

第5条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 委員長に事故あるとき又は欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代行する。

第6条 委員会の庶務は、附属図書館参考調査係において処理する。

第7条 委員会は、その任務が終了したとき解散するものとする。

附 則

この要項は、昭和54年2月1日から実施する。

アメリカ研究図書選択委員会委員名

学 部	学 科	専 攻	職 名	氏 名	備 考
法 学 部	法 政	国際政治学及外交史	教 授	宮 里 政 玄	54・2・20発令
〃	経 済	社会政策及経済史	助教授	松 田 賀 孝	〃
〃	文 学	哲 学	教 授	米 盛 裕 二	〃
〃	社 会	広 報 学	助教授	宮 城 悦 二 郎	〃
教 育 学 部		歴 史 学	教 授	照 屋 善 彦	〃
〃		学 校 図 書 館 学	助教授	石 川 清 治	〃
〃		英 米 文 学	講 師	城 間 幹 夫	〃
教 養 部	英 語	英 語	教 授	比 嘉 長 徳	〃
短 期 大 学 部	法 経	商 法	助教授	中 原 俊 明	〃

新着参考図書

中国共産党新聞雑誌研究 藤田正典編 R052-F67 アジア経済研究所 1976	日外アソシエーツ 1979
法華三部経章句索引 訓読 校成出 R183.3039-Ka11 版社編 校成出版社 1976	財政と地域開発 昭和54年版 地方 R 340-Z 1 財政調査会 1979
日本史用語大辞典1.2 日本史用語大 R210.033-N77 辞典編集委員会編 柏書房 1978	財政と自治 資料編 大蔵省・自治 R 342.1-Z 1 省 昭和54年版 大蔵財務資料調 査会編 大蔵財務資料調査会 1979
有職故実図鑑 河鱈実英著 東京堂 R210.09-Ka91 出版 1978	応用統計ハンドブック 応用統計ハ R 418.8-O95 ンドブック編集委員会編 養賢堂 1978
東南アジア社会文化辞典 河部利夫 R223.033-Ka91 編 東京堂出版 1978	資料日本被害地震総覧 宇佐美龍夫 R 453.2-U92 著 東京大学出版会 1977
江戸文学地名辞典 浜田義一郎監修 R 291.3-E24 東京堂出版 1973	朝日百科世界の植物 1-12、別巻 R 470.38-A82 朝日新聞社編 朝日新聞社 1978
ラテン・アメリカ事典 1979年版 R 295.5-R17 ラテン・アメリカ協会 1978	中薬大辞典 上・下 上海科学技術 R 499.87-Ko88 出版社 1978
経営管理研究・実務文献要覧 1968- R 335.9-Sa63 1977 産業能率短期大学図書館編	電気・電子・情報・制御基礎工学ハ R 503.6-D58

ンドブック 菅田栄治〔ほか〕編
 オーム社 1974
 工業技術研究資料 昭和54年版 通
 産規格協会 1979 R 507.6—Ts91
 最新土木工事ハンドブック 最新土
 木工事ハンドブック編集委員会編
 建設産業調査会 1978 R 510.36—Sa22
 化学工業年鑑 昭和53年版 化学工
 業日報社 1978 R 570.59—Ka 16
 農林水産要覧 昭和54年版 農林水
 産資料調査会編 1979 R 610.59—N96
 園芸植物学名辞典 山田晴美編 産
 業図書 1975 R 622.033—Y19
 世界果樹図説 中村三八夫著 農業
 図書 1978 R 625.11—N37
 会社総鑑 未上場会社版 1979年版
 日本経済新聞社 1979 R 670.35—Ka 21
 芸術・美術に関する10年間の雑誌文
 献目録 昭和40年—昭和49年 日

外アソシエーツ「雑誌文献目録」
 編集部編 日外アソシエーツ 1978
 音楽・演劇・芸能に関する10年間の
 雑誌文献目録 昭和40年—昭和49
 年 日外アソシエーツ「雑誌文献
 目録」編集部編 日外アソシエー
 ツ 1978 R 760.31—O 65
 国語学書目解題 赤堀又次郎編著
 勉誠社 1976 R 810.31—A28
 梵英辞典 V. S. Apte 著 改訂
 増補版 臨川書店 1978 R 829.89—A59
 平安朝文学事典 岡一男編 東京堂
 出版 1977 R 910.23—O36
 増鏡絵索引 門屋和雄編 明治書院 R 913.423—Ka14
 1978
 日本のミルトン文献 明治篇 資料
 と解題 黒田健二郎編 風間書房
 1978 R 931—Ku72

新 着 図 書

目録学序説 志村尚夫著 学芸図書
 1978 014.3—Sh 56
 本の美術史 小野忠重著 河出書房
 新社 1978 020.2—O67
 象山全集 1—5 信濃教育会編
 増訂 明治文献 1975 121.55—Sa 45
 出雲国風土記の神話 佐藤四信著
 笠間書院 1974 162.1—Sa 85
 古事記研究史 徳光久也著 笠間書
 院 1977 210.3—To 38
 久坂玄瑞全集 福本義亮編 マツノ
 書店 1978 289.1—F 77
 同志社大江義塾徳富蘇峰資料集 花
 立三郎〔ほか〕編 三一書房
 1978 289.1—H27
 田淵豊吉議会演説集 1—3 田淵
 豊吉著 小山仁示編 関西大学出
 版・広報部 1973 289.1—Ta12
 都市地理学原理 木内信蔵著 古今
 290.17—Ki 81

書院 1979
 日本のファシズム 第1—3巻 早
 稲田大学社会科学研究所ファシズ
 ム研究部会編 早稲田大学出版部
 1978 311.9—W41
 大正デモクラシー史 信夫清三郎著
 日本評論社 1978 312.1—Sh69
 立憲改進黨々報 第1—4巻 文献
 資料刊行会編 柏書房 1979 315.1—R41
 自治五十年史—制度篇— 亀卦川
 浩著 文生書院 1977 318.236—Ka34
 律令官人制の研究 野村忠夫著 増
 訂版 吉川弘文館 1978 322.134—N95
 日本憲政史論集 尾佐竹 猛著 宗
 高書房 1979 323.3—O74
 一般均衡分析 アロー ハーン〔著〕
 福岡正夫 川又邦雄訳 岩波書店
 1976 331.39—A79
 日本経済史の研究 小葉田淳著 思
 332.1—Ko 11

文閣出版 1978		[ほか]編 朝倉書店 1974—1978	
日本の企業と経済交流 通産規格協会編 通産規格協会 1979	335—Ts 91	人類遺伝学 カート・スターン著 原書第3版 田中克己〔ほか〕訳 岩波書店 1976	467.7—St 5
国際財務管理 デービッド・B.ゼーノフ ジャック・ヅウィック著 番場嘉一郎監訳 森園英輔訳 ぺりかん社 1978	335.96—Z 3	環境植物学 田崎忠良編著 朝倉書店 1978	471.7—Ta99
世外候事歴維新財政談 沢田章編 原書房 1978	342.1—Sa 93	現代動物学の課題 1—6 日本動物学会編 東京大学出版会 1974—1978	481.08—N77
家族役割の研究 上子武次著 ミネルヴァ書房 1979	361.4—Ka37	生物電気 岩瀬善彦 玉重三男 古河太郎共編 南江堂 1975	481.5—I 96
労働運動 虐殺50年記念出版 黒色戦線社 1973	363.8—R59	動物生態学研究法 上・下巻 伊藤嘉昭 村井実共著 古今書院 1977	481.7—I 89
日本婦人問題資料集成 第1—6巻、第8巻 ドメス出版 1978	367.21—N77	光学・電子顕微鏡による細胞と組織 I. II E. B. サンドボーン著 牧田登之訳 東京大学出版会 1973—1974	491.1—Sa 62
集団主義教育の理論 杉山明男著 明治図書 1977	371.5—Su49	建築論叢 堀口捨己著 鹿島出版会 1978	520.4—H88
総合国策と教育改革案 石川準吉著 清水書院 1974	373.1—I 76	匠明 伊藤要太郎校訂 鹿島出版会 1977	521.4—I 89
着装の歴史 R. B. ヨハンセン著 中田満雄訳 文化出版局 1977	383.1—B 75	建築構造実務マニュアル 確認申請のキーポイント足立構造グループ編著 鹿島出版会 1977	524—A 16
春訪れし大黄河 藤田豊著 第37師団戦記出版会 1977	393.2—F 67	吊構造 日本鋼構造協会編 コロナ社 1975	524.1—N77
微分幾何学 S. スターンバーグ著 高橋恒郎訳 吉岡書店 1975	414.7—St 5	地震荷重と建築構造の耐震性 日本建築学会編 1977	524.91—N77
粉体物性図説 粉体工学研究会 日本粉体工業協会編 産業技術センター 1975	428.4—F 89	耐風構造 岡内功 伊藤学 宮田利雄共著 丸善 1977	524.92—O 45
日本天文学史 上・下 神田茂編 原書房 1978	440.21—Ka51	建築鉄骨工事施工指針 建築鉄骨工事施工指針作成委員会編 改訂版 技報堂 1978	525.52—Ke41
湖沼学 吉村信吉著 増補版 生産技術センター新社 1976	452.93—Y 91	現代集合住宅の構成 ハラルド・ダイルマン イエルク・C. キルシェンマン ヘルベルト・プファイファー共著 若月幸敏訳 鹿島出版会 1976	527.8—D 53
生物学史展望 井上清恒著 内田老鶴圃新社 1978	460.2—I 57	画像伝送とその機器 佐藤秀夫 林宏三 林義昭編著 コロナ社 1977	548.8—Sa85
生物科学講座 1—9 大沢文夫 [ほか]編 朝倉書店 1976—1978	460.8—Se17		
微生物学 上・下 R. Y. スタニエ [ほか]共著 高橋甫 [ほか]共訳 培風館 1978	465—St 2		
現代の遺伝学 1—6 大島長造	467.7—G 34		

エレクトロニクス材料 城阪俊吉 早川茂著 電気書院 1975	549 -Ki 55	日本美術の再検討 矢代幸雄著 新潮社 1978	702.1 -Y 61
光電変換デバイス 前田敬二ほか共著 コロナ社 1975	549 -Ma 26	鉄斎大成 第1-4巻 富岡益太郎 小高根太郎 坂本光聡共編 講談社 1976	721.9 -To 56
家庭科学論 山本俵一著 同文書院 1978	590.1 -Y 31	楽器の歴史 E. ヴィンターニッツ 著 皆川達夫 磯山雅共訳 パールコウ 1977	763 -W77
ホーム・エコノミックス思想の生成と発展 松下英夫著 同文書院 1976	590.2 -Ma 88	能と狂言 金井清光著 明治書院 1977	773 -Ka 44
戦後日本における貧困層の創出過程 籠山京著 東京大学出版会 1977	611.95 -Ka 19	茶室研究 堀口捨己著 鹿島研究所出版会 1977	791.6 -H 88
庭と空間構成の伝統 堀口捨己著 鹿島研究所出版会 1977	629.21 -H 88	正法眼蔵の国語学的研究 田島毓堂 著 笠間書院 1977	810.24 -Ta 26
原色図説世界の牛 内藤元男著 養賢堂 1978	645.3 -N 29	動詞の研究 慶野正次著 笠間書院 1972	815.4 -Ke 25
実験用ウサギの生物学 ウェスプロウス〔ほか〕編 板垣博〔ほか〕訳	645.7 -W 55	標準漢文法 校訂解説 松下大三郎 著 徳田政信編 勉誠社 1978	825 -Ma 88
林野所有の形成と村の構造 西川善介著 御茶の水書房 1978	651.15 -N 83	講座・英語教育工学 第1-6巻 研究社 1972-1975	830.8 -Ko 12
消費者のための経済学 L.J.ゴードン S.M.リー共著 宮原佑弘訳 家政教育社 1977	675 -G 67	日本文学始源から現代へ 森山重雄 編 笠間書院 1978	910.2 -Mo 73

図書館事情

〔図書館運営委員会〕

○第123回図書館運営委員会要録

日時：昭和54年9月18日（火） 13：10-15：00

場所：会議室（プレハブ2階）

審議事項：

- (1) 昭和54年度図書館予算執行計画について
- (2) 昭和54年度自然科学系共同利用外国雑誌の選定について

報告事項：

- (1) 医学部図書館運営委員の推せんについて
- (2) 医学部雑誌の選定及び運営委員について
- (3) 「今後における学術情報システムの在り方について」（中間報告）に対する意見の提出について

○第124回図書館運営委員会要録

日時：昭和54年10月16日（火） 13：10-14：20

場所：会議室（プレハブ2階）

審議事項：

- (1) 後期定例日について

(2) 昭和55年度購入雑誌の選定について

報告事項:

- (1) コンテンツ・サービスの状況について
- (2) 日本科学技術情報センターの学術情報提供について
- (3) その他

◦ 第125回図書館運営委員会要録

日時: 昭和54年11月16日(金) 13:10-15:00

場所: 会議室(プレハブ2階)

報告事項:

- (1) 学生用購入図書を集計について
- (2) 沖縄関係資料目録増加版の発行について
- (3) 東京大学外国法文献センター資料及び故神山政良氏の蔵書資料の寄贈について
- (4) 法文学部経済学科視学委員の視察について
- (5) 事務組織の改組について
- (6) 会計実地検査について 12月3日(月)-7日(金)

[研修・講習会]

- 沖縄地区著作権講習会 7月12日(木) 13日(金) 於ゆうな荘 玉那覇文彦総務係長以下13名が参加
- 第1回学内監督者研修会(JST標準課程) 8月13日(月)-17日(金)(4日間) 於風樹館 宮島恵曠雑誌係長参加
- 九州地区国立学校事務職員研修 9月3日(月)-7日(金) 於熊本阿蘇青年の家 玉城実(受入係)参加
- 九州地区国立学校等係長研修 10月2日(火)-5日(金) 於福岡県立少年自然の家 新井裕丈 閲覧係長参加
- JOIS講習会 9月14日(金) 10:30-15:00 於都ホテル 平良恵仁事務長以下15名参加
- 館内研修会 10月22日(月) 10:00-12:00 於図書館会議室 講師 平良恵仁事務長 図書館業務とその分掌について 玉那覇文彦総務係長以下9名参加
- 大学図書館職員講習会 10月30日(火)-11月2日(金) 於東大総合図書館 山里道子(整理係)参加

[来訪者]

- 法文学部経済学科視察委員
大阪大学経済学科教授 渡辺太郎氏 神戸大学経済学科教授 新野幸次郎氏
文部省大学課入学試験係員 中村廣志氏 11月6日(火)
- 東京大学外国法文献センター 受入係長 岩田勝氏 11月7日(水)
- 国立国会図書館 連絡副部長 吉田正夫氏 11月26日(月)

[寄贈及び管理換図書]

受贈: 神山とし子様より 故神山政良氏蔵書 漢籍、洋書等 495冊 9月3日(月)

管理換: 東京大学外国法文献センターより 外国法及び判例集 2,336冊管理換、ならびに寄贈図書として 542冊 11月5日(月)

琉球大学附属図書館報 “びぶりお” 第12巻 第3号 [通巻第45号]

昭和54年12月15日 発行人 平良恵仁 沖縄県那覇市当蔵町3丁目1番地

電話 87-0101(内線338)